「医学図書館」執筆規程　2023年3月改訂

Ⅰ．本誌の内容

本誌は特定非営利活動法人日本医学図書館協会機関誌として，医学およびその関連分野における情報活動・サービス等に関する記事と読者間のコミュニケーションを重視した定例記事やニュース記事で構成され，他誌に発表されていない原稿を和文または英文により掲載する。他誌へ投稿中の原稿は採用しない。

Ⅱ．原稿の書式

1. 投稿表紙

本誌のウェブサイト（https://jmla1927.org/bulletin.php?q=506）からダウンロードして，所定事項を記入する。標題は，論旨を具体的に表現したものとする。また日本医学図書館協会の活動報告については，所属欄に協会の役職もしくは活動事業の担当名を併記する。

2. 本文

原則としてWord形式で作成する。

様式は，A4版設定に25字×22行の横書きで作成する。やむを得ず手書きの場合はA4サイズの横書き400字詰原稿用紙を用いる。

記事の長さは，図表を含めて刷り上がり8ページ（25字×22行のA4版用紙4枚が，実際の誌面の刷り上がり1ページに相当）以内とする。各記事の長さは後述のⅢを参照のこと。

各章の標題は，大項目をⅠ．Ⅱ．Ⅲ．（ローマ数字）…，中項目を1．2．3．（アラビア数字）…，小項目は，1）2）3）…のように表記し，大項目の前後は1行空ける。中項目の前は1行空ける。英数字は半角を用いる。また原稿には通しページを記入する。

3. 英文抄録およびキーワード（英語）

原則としてWord形式で，本文とは別ファイルで作成する。

論文・事例報告には必ず英文抄録とキーワードを付与する。

特集記事は，内容によって作成を依頼する場合がある。また，オピニオン，レビュー，解説，特集，オン・ザ・スポットの英文抄録およびキーワードは任意とする。

英文抄録は200語程度（60字×17行程度が目安）で作成し，キーワードはMeSH等を参考にして5個以内で付与し，英文標題も明記する。抄録は一人称の使用は避け，第三者抄録のスタイルとする。英文標題と抄録は，編集委員会が外部委託により校正をする。ただし，投稿前に英文校正済みの場合は行わない。

4. 図表など

図表は簡潔に作成し，文中に挿入する箇所を指定する。生データを図表にしたものは避ける。原稿そのものから組版できるようにモノクロで作成し，Excel等の図表作成ソフトで作成した別ファイルをそのまま提出する（PowerPoint等の貼り付け画像は用いない）。

他の文献等から図表などを引用・利用する場合の転載許可・掲載許可は著者がとる。写真を掲載する場合は肖像権やプライバシーにも十分に留意する。引用・利用の出典は文中あるいは引用文献・参考文献リストに明記する。

作成に当たっては，「グラフ作成のポイント」（「医学図書館」ウェブサイト　https://jmla1927.org/doc/kikanshi/doc/graph.pdfを参考にしてください）。

図表の標題，説明文はキャプションテンプレートに記入する。掲載時の図表の大きさと位置は編集委員会に一任する。また，カラー画像を希望する場合は，その費用は著者負担とする。

5. 参考文献

本文の末尾に記載すること。引用する参考文献は主要なもののみに限定し，一般に入手可能なものが望ましい。

引用文献は引用順に一連番号をつけて配列し，引用箇所には肩付片括弧数字を記入する。

著者が6名以内の場合は全員の名前を記載し，それ以上の場合は最初の6名まで名前を記載し，後は（ほか）または（et al.）とする。欧文雑誌名の省略は，MEDLINEの省略名に準拠し，和文誌名は省略しない。

文献のページ表記は，以下の例のように省略して記載する。最終ページは開始ページと重複する部分は省略する。

ページ記載例　341-347.　→　341-7.

Presented by Medical*Online

同一書誌内からの引用・参考についても「同上」などの省略を避け，書誌事項の全てを記載する。
引用文献・参考文献の記載方法はCiting Medicine, 2nd edition: The NLM Style Guide for Authors, Editors, and Publishersに準拠する。
（参考URL：https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/）

〈引用文献・参考文献の記載方法と例〉

電子文献の場合は，通常の引用方法に[媒体]，URL，アクセス日を加える。

a. 逐次刊行物

著者．論文名．誌名．出版年；巻数（号数）：開始ページ - 最終ページ．

1) 城山泰彦．雑誌購読料金の計量的分析：掲載論文数，Impact Factor値，所蔵館数などの分析を通して．医学図書館．2005;52(1):66-71.
2) 生出直子．Index Medicusに収載されている日本国内雑誌の分析．第20回医学図書館員セミナー論文集．1993:123-37.
3) 特集1．使いやすさとデザインを考える　Webのユニバーサルデザインって何ですか？．Web Designing. 2002;2(5):40-63.
4) 菅修一．森美術館「医学と芸術展」展観印象記．医学図書館．2010;57(1)(印刷中).
5) 大学，情報管理に本腰：ISO取得の動き広がる．読売新聞．2006年11月3日;朝刊.
6) Guard JR, Brueggemann RF, Fant WK, Hutton JJ, Kues JR, Marine SA, et al. Integrated advanced information management systems: a twenty-year history at the University of Cincinnati. J Med Libr Assoc. 2004;92(2):171-8.
7) Sugita S, Horikoshi K, Suzuki M, Kataoka S, Hellman ES, Suzuki K. Linking service to open access repositories. [internet]. D-Lib Magazine. 2007;13(3-4). http://www.dlib.org/dlib/march07/sugita/03sugita.html [accessed 2023-02-17]

b. 単行本

著者．章の見出し．編者名．書名．版表示．（シリーズ名；シリーズ番号）．出版地：出版者；出版年.p. 開始ページ - 最終ページ．

1) 阿部信一，奥出麻里．図解PubMedの使い方：インターネットで医学文献を探す．第3版．東京:日本医学図書館協会;2006.
2) 黒澤節男．図書館と著作権．（ケーススタディ著作権;第3集）．東京:著作権情報センター;2000.p.25-9.
3) Chambliss DF（浅野祐子訳）．ケアの向こう側：看護職が直面する道徳的・論理的矛盾．東京:日本看護協会出版会;2002.
4) Brodman E. Research in health science libraries. In: Darling L, editor. Handbook of medical library practice. Vol.1. 4th ed. Chicago:Medical Library Association;1983.p.273-317.
5) 稲田祐二．「いのち」の不思議さ．（科学選書;12）．東京:紀伊国屋書店;1992.p.94-7. [internet]. http://www.netlibrary.com/AccessProduct.aspx?ProductId=190800&ReturnLabel=lnkInOurCollection&ReturnPath=%2fListContent.aspx%3fcc%3dEbook [accessed 2023-02-17]

c. 会議録，学会抄録

著者．論文名．誌名：学会開催日；学会開催地：出版者；出版年.p. 開始ページ - 最終ページ．

1) 山崎茂明．論文発表からみたES細胞ねつ造事件．第23回医学情報サービス研究大会抄録集:2006年7月15-16日;千葉:医学情報サービス研究会;2006.p.15.

d. 非図書資料

書誌記述方法の詳細は，印刷媒体の引用方法を参照すること。

著者．論題［媒体］．書誌．

1) 日本医学図書館協会ビデオ制作委員会企画・監修．医学研究のための文献の探し方[video].（Library video series医学情報の達人;2）．東京:紀伊國屋書店;1994.

Presented by Medical*Online

e. Webサイト

サイト名 [internet]. URL [accessed yyyy-mm-dd]

1) 日本医学図書館協会[internet]. http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/index.html [accessed 2010-02-26]

f. Webページ

著者. タイトル [internet]. URL [accessed yyyy-mm-dd]

1) JPCOAR. オープンアクセスリポジトリ推進協会の概要[internet]. https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/38 [accessed 2023-03-08]

Ⅲ. 記事の長さ

原稿量の目安は，以下を参照のこと。なお「本文枚数」に参考文献の分量は含まない。

記事区分	本文枚数	図表枚数	英文標題	英文抄録
会員館紹介	3～5	2以内	必要	不要
広場	3～6	2以内	不要	不要
読者からの手紙	2～3	ナシ	不要	不要
レビュー	16～23	10以内	必要	任意
オピニオン	12～20	5以内	必要	任意
解説	12～20	5以内	必要	任意
特集	8～19	10以内	必要	任意
論文	12～19	10以内	必要	必要
事例報告	8～15	5以内	必要	必要
エッセイ	12～20	5以内	必要	不要
報告・JMLA活動報告	8～20	5以内	必要	不要
オン・ザ・スポット	3～12	1～2	必要	任意
プロダクト・レビュー	3～6	1～2	不要	不要
Q&A	3～6	1～2	不要	不要
レファレンス事例集	2～4	3以内	不要	不要
BookReviews	750字	1	不要	不要

Ⅳ. 校正

初校は著者校正とする。著者は依頼されたら，速やかに校正を行い返送する。この際，原稿にない大幅な修正や加筆はしない。

Ⅴ. 別刷

著者に，別刷（PDF版）を無償提供する。印刷版を希望する場合は，投稿表紙の所定欄に記入する。また，その費用は著者負担とする。

別刷料金表（税別）

部数＼頁数	1頁	2頁	4頁	6頁	8頁
別刷　50部		4頁以下：5,000円		5,500円	6,000円
100部		4頁以下：7,000円		7,500円	8,000円

製本　中とじ

用紙　表紙　上質紙110kg，本文　上質紙70kg

梱包発送料　1点につき1,000円（税別）

上記は，国内発送の場合とし，海外発送の場合は，別途とする。

Presented by Medical*Online

Ⅵ．掲載原稿の取り扱い

掲載された記事の原稿は，原則として返却しない。ただし，写真については投稿時に著者の希望があれば後日返送する。

Ⅶ．査読

編集委員会が中心となって行う。外部査読員に審査を依頼し，審査結果をもとに著者による修正・加筆をした最終原稿の再提出を要求する場合がある。

また，記事区分の最終決定は編集委員が行う。

Ⅷ．著作権

本誌に掲載する著作物の「著作権法第21条（複製権）から第26条の3（貸与権）で規定する権利」は日本医学図書館協会に譲渡されたものとする。電子的公開・転載は，本誌発行後，非営利サイトに限り全文の転載を認めることとし，事前に本協会へ申請書を提出する。ただし，機関リポジトリについては次号発行後の転載を認め，申請書の提出は不要とする。

Ⅸ．投稿締切日の目安

投稿に際しては，以下の締切日を目安にする。

号	発行月	締切日
1号	3月	前年11月末日
2号	6月	同年 2月末日
3号	9月	同年 5月末日
4号	12月	同年 8月末日

Ⅹ．原稿提出の方法

原稿は電子メールに添付して送信するか，原稿を保存した電子メディアを郵送する。

なお原稿は以下のファイルで構成することとする。

・「投稿表紙」（Ⅱ－1）参照

・本文

原則としてWord形式で作成すること。

・図表

原則としてExcel形式で作成すること。

・英文抄録（必要に応じて）

200字程度，60字×17行程度を目安として作成すること。また5個以内でキーワードを付与すること。

原稿提出先・問合せ先

「医学図書館」編集委員長　浅野　　泉

E-mail：JMLA-editorial-A@umin.ac.jp

ただし編集委員会からの依頼原稿は，それぞれの担当者へ提出するものとする。

・「医学図書館」ホームページ

https://jmla1927.org/bulletin.php

・「医学図書館」執筆規程2023年3月改訂

https://jmla1927.org/doc/kikanshi/kitei.pdf

・「医学図書館」執筆ガイド2022年版

https://jmla1927.org/doc/kikanshi/guide.pdf

Presented by Medical*Online